

独立行政法人 国立のぞみの園

第 3 期中期目標期間（平成 25～29 年度） 見込評価
業務実績報告（案）
（個別評価シート）

平成 29 年 8 月 7 日

1．評価対象に関する事項			
法人名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園		
評価対象中期目標期間	見込評価（中期目標期間実績評価）	第 3 期中期目標期間（最終年度の実績見込を含む。）	
	中期目標期間	平成 2 5 ～ 2 9 年度	

2．評価の実施者に関する事項				
主務大臣		厚生労働大臣		
	法人所管部局	社会・援護局障害保健福祉部	担当課、責任者	企画課施設管理室 池田 浩室長
	評価点検部局	政策統括官	担当課、責任者	政策評価官室 牧野 利香 政策評価官
主務大臣		（共管法人は評価の分担についても記載）		
	法人所管部局	（評価を実施した部局を記載）	担当課、責任者	（担当課、課長名等を記載）
	評価点検部局	（主務大臣評価を取りまとめ、点検する部局を記載）	担当課、責任者	（担当課、課長名等を記載）

3．評価の実施に関する事項	
（実地調査、理事長・監事ヒアリング、外部有識者評価からの意見聴取など、評価のために実施した手続等を記載）	

4．その他評価に関する重要事項	
（組織の統廃合、主要な事務事業の改廃などの評価対象法人に関する事項、評価体制に関する事項などを記載）	

1. 全体の評価		
評価 (S、A、B、C、D)	B : ○○・・	(参考 : 見込評価) ※期間実績評価時に使用
評価に至った理由	(項目別評価の分布や、下記「2. 法人全体に対する評価」を踏まえ、上記評価に至った理由を記載)	

2. 法人全体に対する評価	
法人全体の評価	(項目別評価及び下記事項を踏まえた、法人全体の評価を記述)
全体の評価を行う上で特に考慮すべき事項	(法人全体の信用を失墜させる事象や外部要因など、法人全体の評価に特に大きな影響を与える事項その他法人全体の単位で評価すべき事項、災害対応など、目標、計画になく項目別評価に反映されていない事項などを記載)

3. 課題、改善事項など	
項目別評価で指摘した課題、改善事項	(項目別評価で指摘した課題、改善事項で、組織及び業務全般にわたる検討、新中期目標の策定において特に考慮すべき事項があれば記載)
その他改善事項	(上記以外で今後の対応の必要性を検討すべき事項、政策・施策の変更への対応、目標策定の妥当性など、個別の目標・計画の達成状況以外で改善が求められる事項があれば記載)
主務大臣による改善命令を検討すべき事項	(今後、改善が見られなければ改善命令が必要となる事項があれば記載)

4. その他事項	
監事等からの意見	(監事等へのヒアリングを実施した結果、監事等からの意見で特に記載が必要な事項があれば記載)
その他特記事項	(有識者からの意見があった場合の意見、評価の方法について検討が必要な事項など、上記以外で特に記載が必要な事項があれば記載)

様式 1－2－3 中期目標管理法 中期目標期間評価 項目別評価総括表様式

中期目標	年度評価					中期目標期間評価		項目別 調書No.	備考欄
	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	見込評 価	期間実 績評価		
Ⅰ．国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項									
施設利用者の地域移行への取組	A	A	<u>B</u>					1－1	
施設入所利用者の高齢化に対応した支援	B	B	B					1－2	
著しい行動障害等を有する者等への支援	A	A	A					1－3	
矯正施設等退所者への支援	A	B	<u>B</u>					1－4	
発達障害児・者及び地域で生活する重度の障害児・者への支援	A	A	B○					1－5	
調査・研究のテーマ、実施体制等	A	A	B					1－6	
成果の積極的な普及・活用	A	A	B					1－7	
養成・研修、ボランティアの養成	S	A	B					1－8	
援助・助言	A	A	A					1－9	
その他の業務	A	A	B					1－10	
サービス提供等に関する第三者から意見等を聴取する機会の確保	B	B	B					1－11	

※重要度を「高」と設定している項目については各評語の横に「○」を付す。

難易度を「高」と設定している項目については各評語に下線を引く。

中期目標	年度評価					中期目標期間評価		項目別 調書No.	備考欄
	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	見込評 価	期間実 績評価		
Ⅱ．業務運営の効率化に関する事項									
効率的な業務運営体制の確立	A	B	B					2－1	
内部統制・ガバナンス強化への取組	C	B	B					2－1	
業務運営の効率化に伴う経費節減	A	A	B					2－3	
効率的かつ効果的な施設・整備の利用	B	B	B					2－4	
合理化の推進	A	A	B					2－5	
Ⅲ．財務内容の改善に関する事項									
財務内容の改善に関する事項	A	A	B					3－1	
Ⅳ．その他の事項									
その他業務運営に関する重要事項	B	B	B					4－1	

3. 中期目標期間の業務に係る目標、計画、業務実績、中期目標期間評価に係る自己評価及び主務大臣による評価									
	中期目標	中期計画	主な評価指標等	法人の業務実績・自己評価			主務大臣による評価		
				業務実績		自己評価	(見込評価)		(期間実績評価)
	1 自立支援 のための取組	1 自立支援 のための取組 重度の知的障害者に対する先導的かつ総合的な支援の提供等を目的とする国立の施設であることを踏まえ、次の取組を行うことにより、重度かつ高齢の知的障害者の自立に向けたモデル的な支援の確立に努めるとともに、他の知的障害関係施設等に対し、これらの知的障害者に対する支援方法等のモデルを提供する。	<主な定量的指標> ・地域移行した者の数 <その他の指標> なし <評価の視点>	<主要な業務実績>		<評価と根拠> 評価：A 地域移行への取組については、前中期目標期間（平成 24 年度）までと比べて、加齢による機能低下、重症化が進み、医療的ケアを必要とする者など、特別な支援を必要とする者が増えている。 また、受入れの確保として、出身自治体等の事業所等に協力要請するものの現員(空き状況)の他に、介護度の高さや医療的ケアの必要性から受入れに消極的な事業所が増えている実態がある。 このような事情から地域移行について本人の意思確認や家族からの地域移行の同意を得ることが難しくなっている状況である。 これらの状況にあつて、今年度移行した 5 人のうちの 3 人については、	評価		評価
							<評価に至った理由>		
	(1) 重度知的障害者のモデル的な支援を行う	(1) 地域移行への取組 施設入所利用者の地	・施設入所利用者数について、第 2 期中期目標終了時（平成 25 年 3 月 31	(1) 地域移行への取組 地域移行への取組は、利用者の高齢化・重度化が進み困難になる中、丁寧かつきめ細かく計画的に進めた。 [地域移行の実績] ・平成 25 年度 5 人					

</

</

--	--	--	--	--	--	--	--

4. その他参考情報
特になし

				と大変参考になったと好評であった。 テーマ：「高齢知的障害者の支援について」 「50 歳からの支援ー認知症になった知的障害者ー」より学ぶ知的障害者の高齢化像」等 ・平成 25 年度 6 件(鳥取県、富山県、愛知県、東京都、大分県、茨城県) ・平成 26 年度 5 件(千葉県、兵庫県、愛知県、東京都、三重県) ・平成 27 年度 4 件(埼玉県、岐阜県、愛知県、鳥取県) ・平成 28 年度 8 件(群馬県、東京都②、鳥取県、神奈川県、鳥根県、長野県、宮城県) ※2 人以上の場合は②で記載			
--	--	--	--	---	--	--	--

4．その他参考情報
特になし

--

||
||
||

||
||
||

